

第195話 俳諧⑧ 松田未覚のこと その5  中山町 歴史散策

松田未覚の作品は、さまざまな俳諧書に入っているのが確認されています。寛文5年（1665年）2月23日、二世花ノ本安原貞室（青木定章の師）が選んだ俳諧書に未覚の作品が寄せられており、力量すぐれた俳人として知られています。そのほかに、貞享2年（1685年）に尾花沢の紅花商人である鈴木清風が編んだ「稲菴」には、次の句が入っています。清風は未覚より14、5歳も若く交流を示すものは残っていませんが、深い敬意を払っているのが感じられます。

岨馬野辺に山里の花散やらん  
未覚  
五月雨  
さめ鞘や身は宿ながら五月雨  
松田未覚

子日 ねのひ  
子日や君が千とせは片手業  
羽州未覚  
(以下略)

全部で24句が収められ、未覚16句、松田未覚6句、羽州未覚1句、それ以外では、1句のみ長崎未覚とあるので、大方は左沢に出るからの句が収められたと考えられます。中には、前句付の一部なのか解釈のしようがない句も含まれていますが、既に全国に認められた秀句の作者でありました。

【用語の説明】

安原貞室：江戸前期の俳人。松永貞徳の高弟。貞徳の跡目を継承して花ノ本二世と称した。

子日：十二支の子にあたる日。特に、正月の最初の子の日。また、その日に、人々が野外に出て小松を引き抜いたりして宴遊を行って千代の長寿を祝う行事。

※引用 中山町史 中巻

第10章第3節  
文芸と美術工芸から

私たち地域おこし協力隊です！ No.61 

みなさんこんにちは！地域おこし協力隊の高橋です！

マイナポイントキャンペーンをきっかけに、キャッシュレス決済に興味を持たれた方は多いのではないのでしょうか。「買い物が楽になった」、「お得に買い物ができた」と感じた方もいらっしゃるかもしれません。

さて、改めてキャッシュレス決済とは何でしょうか。「クレジットカード」「電子マネー」「スマホ決済」などの現金以外の決済方法です。

私は買い物をする時に、現金かキャッシュレス（主にスマホ決済）かをどちらがお得かで決めています。少しでもお得に買い物したいと思うので、何で決済するのがいいかを「自分で選べる」ことが大事なのではないかと考えています。

キャッシュレス決済を必ず使う必要はないですが、お得で便利になる可能性もあるので、「選択肢のひとつ」として持っておくといいのではないのでしょうか。

もちろんメリットだけでなくデメリットもありますので、少しでも気になる方はぜひ、スマホよろず相談所をご利用ください。



高橋 圭哉

出身地：宮城県岩沼市  
趣味：けん玉、  
アニメ鑑賞



●協力隊への問い合わせ先● 高橋 ☎662-2223（総務広報課）